

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年11月13日～11月19日)

平成 26 年(2014 年)11 月 21 日

H E A D L I N E S

政治

統一地方選挙が実施され、県議会選挙で野党「法と正義」(PiS)が優勢
 コモロフスキ大統領、ピロード革命25周年記念式典に出席
 コパチ首相、ノルウェー首相と会談
 コモロフスキ大統領、ブルガリア大統領と会談
 スヘティナ外相、ベルリンを訪問

経済

ポーランド産食料品輸出は健在
 10月のインフレ率は-0.6%
 第3四半期の経済成長率は予想速報値で3.3%
 10月の平均賃金上昇率は3.8%
 フォルクス・ワーゲン社がポズナン近郊に新工場を建設
 航空機バレーは20億ドルの輸出見込み
 コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営を巡る状況
 40%のポーランド人の若者は海外で働くことを希望
 中国と中東欧16か国の投資協力枠組の事務所がワルシャワに設置

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ
 領事アンケートへの御協力について
 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

統一地方選挙が実施され、県議会選挙で野党「法と正義」(PiS)が優勢【16日】

16日、統一地方選挙が実施され、同日夜に発表された世論調査機関IPSOSの出口調査によると、県議会選挙の得票率において野党「法と正義」(PiS)が31.5%を獲得し与党・市民プラットフォーム(PO)の27.3%を上回る結果を出した。他方、選挙後の集計作業においてシステム障害が発生し、20日現在においても全ての県議会選挙の正式結果が発表されていない。既に正式結果が出ている主要都市の市長選挙においては、トルン、ジェシュフ、ルブリン、ケルツェ、ウッチでは現職候補が50%以上の票を獲得し再選を果たしたが、ワルシャワを含むそれ以

外の都市においては、30日に上位2人の候補者による決選投票が行われる予定。

集計作業の遅れを巡っては、19日にチャプリツキ国内選挙局長が混乱の責任を取り本年12月1日に辞任する意向を表明した他、カチンスキPiS党首及びミレル民主左翼連合(SLD)党首が早期に新たな統一地方選挙実施すべきと訴えるなど、内政に混乱をもたらしている。なお19日、コモロフスキ大統領は、再選挙の必要性を訴えることなどによって今次選挙の正確性に疑問視することには同意しない、集計を巡る問題については冷静な議論を訴えたい旨述べている。

外交・安全保障

コモロフスキ大統領、ビロード革命25周年記念式典に出席【16日】

16日、コモロフスキ大統領は、ブラチスラバで開催された旧チェコスロバキアのビロード革命25周年記念式典に出席した。またこの機会にV4(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)首脳はポロシェンコ・ウクライナ大統領との会合を実施した。コモロフスキ大統領は、V4はウクライナ危機に直面しているEU及び西側社会の結束の一要素であり、V4内の連帯の維持が重要である旨述べた。

コモロフスキ大統領、ブルガリア大統領と会談【18日】

18日、コモロフスキ大統領は、ポーランドを訪問中のプレヴネリエフ・ブルガリア大統領と会談を行い、ウクライナ情勢、エネルギー安全保障、経済関係、地域政策等につき意見交換した。コモロフスキ大統領は、会談後に、両国はウクライナにおけるロシアの攻勢による危機に関し共通の立場を有している旨述べた。

コパチ首相、ノルウェー首相と会談【17日】

17日、コパチ首相は、ポーランドを訪問中のソールベルグ・ノルウェー首相と会談し、ウクライナ情勢、エネルギー・防衛・経済分野における協力等につき意見交換した。コパチ首相は、会談後に、現在最も重要なウクライナ支援を中心に意見交換した、ノルウェーはEU加盟国ではないが対露制裁を導入するなど欧州として結束した立場を示している旨述べた。

スヘティナ外相、ベルリンを訪問【19日】

19日、スヘティナ外相はベルリンを訪問し、シュタインマイヤー独外相と外相会談を行った。両外相はウクライナ問題を中心に意見交換し、スヘティナ外相は、会談後に、ポーランドと独は対露制裁を含むウクライナ情勢につき同様の評価を有している旨述べつつ、ウクライナ問題にワイマール・トライアングル(ポーランド、独、仏)として積極的に関与する用意があるとの姿勢を示した。

経 済

経済・財政政策

ポーランド産食料品輸出は健在【13日】

サビツキ農業・農村開発大臣は、1月から9月までの今年3四半期の食料品輸出は157億ユーロ、輸入は108億ユーロであったと発表し、輸入に関しては前年同期比5%増で、このペースが維持されれば2014年の食料品輸出総額は200億ユーロに達す

る見込みであると述べた。同大臣は、対露食料品輸出は10年前に全体の30%を占めていたが昨年は7%まで減少しており、現在ポーランドは76カ国に食料品を輸出しているところ、今後も輸出先を拡大し、輸出品目も増加させると語った。

マクロ経済動向・統計

10月のインフレ率は-0.6%【13日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の消費者物価上昇率(CPI)は、前年同月比で9月の同-0.3%より更に低下した-0.6%であった。前月比では0.0%と変わらずであった。財務省及国立銀行は、10月のインフレ率を-0.3%、11月には0.0%まで回復すると予測していたが、これで早期のデフレからの回帰は難しくなった。また、コア・インフレも前年同月比で9月の同0.7%より低下した0.2%となっており、デフレ傾向は長期化すると見られている。

第3四半期の経済成長率は予想速報値で3.3%【14日】

中央統計局(GUS)は、第3四半期のGDP成長率

は前年同期比で第2四半期の同3.5%より減速した3.3%との予測速報値を発表した。前期比では0.9%の予測。専門家の予想は前年同期比2.8%であった。算出方法にはEUの新基準ESA2010が適用されており、第2四半期の成長率は3.3%から3.5%に上方修正されている。

10月の平均賃金上昇率は3.8%【19日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の平均賃金は、前年同月比3.8%増、前月比2.1%増となる3,980.92ズロチであった。また、10月の雇用者数は、前年同月比0.8%増、前月比0.1%増となる554万4600人となっている。

ポーランド産業動向

フォルクス・ワーゲン社がポズナン近郊に新工場を建設【13日】

13日、ポズナン近郊の Wrzesnia において、フォルクス・ワーゲン(VW)社の新工場の定礎式が、ピエホチンスキ副首相兼経済大臣やVW社幹部の出席の下に行われた。同工場は、2016年末までの完成を予定しており、3,000人が雇用され、Crafter(商用車のモデル名)が製造される。

航空機バレーは20億ドルの輸出見込み【19日】

ポーランド南東部にある航空機バレーには現在123社の航空機関連企業がクラスターを形成しており、毎年20社規模で拡大している。同クラスターによれば、約15億ズロチの投資が教育、インフラ整備等に効果的に活用された結果、今年20億ドル規模の航空機部品輸出を達成する見込みであるという。同クラスターでは、来年も新規投資による拡大が見込まれている。また、ポーランド軍によるヘリコプター調達に際し、部品供給に参画することを期待している。

エネルギー・環境

コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営を巡る状況【18日】

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の経営再建が暗礁に乗り上げている。計画していたユーロ債の発行が延期となり、資金調達のめどが付かなくなっている。同社の経営再建に関し、同じく鉱山会社であるヴェングロコクス社への炭鉱の売却話

も持ち上がっている。

政府はこれを受け、国有財産省を中心に鉱山産業への長期的な金融支援策を検討する特別チームを立ち上げた。コパチ首相も18日に労働組合幹部と会談し、鉱山産業への投資の必要性に理解を示す一方、明確な(財政再建)計画なしに資金をつぎ込むことを意味するものではないと強調した。

その他

40%のポーランド人の若者は海外で働くことを希望【13日】

ポーランド人の若者に海外で働くことについてアンケートを採ったところ、約4割が海外で働くことを希望するとの回答を選択しており、特にドイツ、英国及びオランダの人気の高いという。アンケートでは、18-24歳のポーランド人の若者では約40%の若者が海外で働くことを希望しており、25-35歳では35%、学生では31%であった。この結果に関し、調査機関は依然として大学卒業生の失業率が高く、結果として高学歴の学生がその学歴に見合わない職業についていることを指摘し、学生のポーランド労働市場に対する展望は明るくないと警鐘

を鳴らしている。調査報告書では、回答をしたポーランド人の多くが、外国での高い賃金に魅力を感じていることも取り上げている。

中国と中東欧16か国の投資協力枠組の事務所がワルシャワに設置【19日】

19日、中国と中東欧16か国における投資協力に関する事務所の開所式典が、ポーランド議会下院(Sejm)で行われた。開所式典には中国の自動車関連産業の関係者のほか、ピエホチンスキ副首相兼経済大臣やポーランド情報・外国投資庁(PAIIIZ)マイマン総裁も出席した。同事務局はPAIIIZ内に設置され、中国と中東欧16か国の間の

投資に向けたセミナーやマッチング等を行う。

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ

12月3日から6日まで、当館にて第47回衆議院議員総選挙に伴う在外投票が行われます。詳しくは当館のホームページを御覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思っております。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.deliver.mofa.go.jp/m?f=1114>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】私の目で見たポーランドの都市【10月～12月】

ヴロツワフ市にて、ナイーブ・民族アートギャラリー主催による絵画展『私の目で見たポーランドの都市』が開催中です。阿山真也氏による作品が展示されています。

開催場所: ヴロツワフ市, ul. Kielbasnicza 31

【開催中】「竹と漆」池田巖展【10月27日(月)～1月4日(日)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『竹と漆』池田巖展が開催中です。池田巖氏による竹と漆の素材の魅力をひきだした作品が展示されています。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha マンガ, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/25>

【開催中】荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュックの写真展示会【11月7日(金)～12月14日(火)】

ワルシャワにて、ライカギャラリー主催による『荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュック写真展示会』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, ライカギャラリー, ul. Mysia 3

詳細: <http://leica-camera.pl/aktualnosci/wydarzenia/araki-i-jaszczuk/>

【予定】スカーレット・ドラゴントーナメント(紅中大会)【11月22日(土)～23日(日)】

ワルシャワにて、ポーランド麻雀連盟主催による『スカーレット・ドラゴントーナメント（紅中大会）』が開催されます。日本の伝統ゲームの大会と茶道デモンストレーションが予定されています。

開催場所：ワルシャワ，Centrum Promocji Kultury Praga-Południe, ul. Podskarbinska 2

詳細：<https://www.facebook.com/MahjongPL>

【予定】国際フルコンタクト空手選手権大会『Oyama Cup』【11月29日（土）】

ミエンジズドロイエ市にて、スポーツクラブ『武士道』主催による国際フルコンタクト空手選手権大会『Oyama Cup』が開催されます。

開催場所：ミエンジズドロイエ市，Hala sportowa im. Andrzeja Grubby przy Szkole Podstawowej Nr 1, ul. Lesna 17

詳細：<http://www.bushido.fn.pl/>

【予定】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日（日）～5月18日（月）】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付けや屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所：クラクフ，日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）